## 令和元年度富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議 中小企業支援専門部会(要旨)

1 日 時:令和2年2月18日(火)13:30~15:00

2 場 所:富山県民会館 702 号室

3 説明事項

令和2年度 県中小企業振興施策(当初予算)について

## 4 委員からの主な意見

## 【1 事業承継について】

- 国の制度、民法改正等に合わせ、金融機関では既に対応を始めているので、協力して ほしい
- マッチングの取組みを始めているが、事業承継が必要な企業が手を上げてくれない状況があり、事業承継の必要性を訴えていきたい
- 創業はまったくゼロからスタートするのは難しいが、事業承継であれば、易しくなる という利点がある
- 事業承継ネットワークでの承継診断は、予想を上回る件数であった。国も力を入れて おり、今後も力を入れて取り組みたい
- 小規模事業者では、利益があまり見込めないことから、事業承継先が決まらない状況がある
- 製薬企業は世代交代が進んでいるが、薬剤師は不足しているので、県の施策も活用して人材を確保していきたい
- 中小企業は技術革新がないと生き残れないので、技術開発組合をつくって、技術開発 を伴う事業承継を進めている
- 事業承継は継ぐ方、継がれる方、両方のモチベーションをどうキープしていくかが大事
- 商工団体の青年部等の若者に対する経営感覚を植え付ける施策が必要ではないか。
- 中小企業でも少しずつ事業承継のマインドは上がってきている。小規模の M&A にも注目していかなければならない
- 事業承継するには企業として活力があることが必要
- 【2 コロナウイルスによる影響について】
  - コロナウイルスの影響で先の見通しが立てられない企業が増えており、サプライチェーン等に実際に影響が出始めているため、不安感の払拭に努めたい
  - 観光業では風評被害を心配している
- 海外出張を取りやめた等の具体的な影響が出始めている。会議等でもマスク着用を推 奨する通達が出ている
- 直接の影響はあまり出ていないが、このまま感染が拡大していくと外国人実習生の受 入れにも影響が出るのではないか心配
- 人の動き、サプライチェーンが止まっているため、大企業を中心に影響が出ており、 これから中小企業へ影響が出るのではないか

## 【3 景況感等について】

- 小規模企業は悪くなってきている。雪不足でスキー場や観光業、除雪関連で相談が出 始めている
- 業界によって若干様相は異なるものの、総じて去年と比較すると悪くなっているという声が多い。リーマンショック以来の不況だという声もある
- 土木工事は公共事業を中心に仕事は増えているが、県内においても地域格差はある
- 雪不足で除雪業務がほとんどない状況であり、中山間地では除雪を見越して仕事を調整しているところもあり、そういったところには影響が出ている
- 暖冬のため、衣類が売れない状況があるが、悪い中でも新商品は売れるので、新商品 開発に力を入れていきたい。販路開拓にも支援いただきたい
- 消費増税等に伴う薬価改定により、医薬品の市場は伸びていない
- 自動車部品関連は米中貿易摩擦の影響で、厳しい状況
- 中小企業では、大卒者を採用できない前提で、Uターンの中途採用を進めている。県内に住む親が、県外で働く子どもに県内企業の情報を伝えられるようなると良い
- IoTによる働き方改革は、成功事例があると拡がるのではないか
- 中心街に住んでいても、買い物に行けるところがなく、何のために中心街に住んでいるのか分からなくなるという報告があった
- 中心街のアーケードがリプレース期を迎えているが、お金がかかるため進んでいない
- 消費増税等の影響で9月から2月は全国的にマイナスという結果が出ている
- インボイス制度を知らない事業者が中小・零細企業に多い
- 働き方改革の影響で、営業日の減などで影響が出ているほか、大企業が働き方改革に 取り組み始めた影響で、仕事が中小企業に押し付けられている現状もある
- SDGs に取り組まないと取引できないというような企業環境ができつつあるので、環境 に対する意識をどう企業に植え付けていくかが大事
- 人手不足対策として、中高生に対して地元に残ってもらうような教育が必要。就業支援については、障害者雇用も検討してほしい
- 人口減に対応するため、ダイバーシティー化や UIJ ターンの促進を進めている
- 全体的にマイナス傾向だが、電子部品関連は好調
- 建設業、土木業は好調だが、小売業は苦戦している
- IoT や 5G は中小企業こそ活用できるはず
- 12 月の上場企業の決算発表で、前年比マイナス 6.6%というものがあったが、数字上も 日本経済は弱っていると思われる
- 大企業を誘致するのは良いが、逆に地域の雇用を持っていってしまうこともある
- 創業に際しての融資の相談は増えている